

協会
PF I Japan
スリム

施設更新・インフラで調査

財源、民活整備手法探る

日本PF I・PPP協会
(植田和男理事長)と社会基
盤ライフサイクルマネジメン
ト研究会(スリムJapan、
有岡正樹理事長)は、公共施
設の更新問題やインフラの老
朽化対策について、地方自治
体を対象としたアンケートを

実施する。財源の確保策や民
間活力による整備手法などに
ついて調査し、集計結果を踏
まえて具体的な対応策を検討
する見通し。7月19日に東京
都内で開くセミナーで結果を
公表する予定だ。
アンケートは、日本PF I

・PPP協会が公共施設の更
新に向けた財源確保策やマネ
ジメントシステムについて、
一方のスリムJapanは対
策が先送りされがちな長さ15
以未満の橋梁の管理手法や修
繕計画などを調査する。
公共施設の更新問題では、

公共施設の「白書」や「マネ
ジメント白書」の作成の有無、
財源の見通しと財政状況、民
間活力の活用、庁内の組織体
制、公共施設配置計画などに
ついて質問している。
橋梁については、維持管理・
更新計画の有無や進捗状況、
整備財源、整備手法などを調
査するほか、土木系NPOの
活躍の場についても探る。

両者はアンケートの集計結
果に基づいて具体的な対応策
を検討し、関係各方面に提言
する見通し。調査結果は7月

19日に東京・芝の仏教伝道セ
ンタービルで開くセミナーの
場で公表する。セミナーには、
国土交通省や総務省の担当
者、建築家、橋梁の専門家な
どを講師に招き、それぞれ講
演してもらう予定だ。

セミナー参加費は、行政関
係者が無料、民間会員は30
00円、民間非会員が800
0円。申し込みは7月12日ま
で、ファクス(03-6809
-2292)か電子メール
(info@pikyoikai.or.jp)で
受け付ける。